

十日町地域 稲作速報～漏水対策～（4/10 発行）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

- 令和8年は平年に比べて消雪が早いため、春季の降水量が少ない場合は、春作業に必要な水が不足する恐れがあります。
- 用水が不足する可能性のある地域は、漏水対策に取り組むとともに、計画的な水利用を心掛け、水不足に備えましょう！

【気象予報】北陸地方3か月予報（新潟地方气象台3月24日発表、4月～6月）

○暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は、高いでしょう

○低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう3か月の降水量は平年並か多いでしょう

	4月	5月	6月
平均気温	高い (低10 並20 高70%)	高い (低10 並30 高60%)	高い (低10 並30 高60%)
降水量	平年並か多い (少20 並40 多40%)	ほぼ平年並 (少30 並30 多40%)	ほぼ平年並 (少30 並30 多40%)

1 個人での取り組み

- ほ場や畦畔に亀裂が入ったままの場合、漏水によって栽培に影響が生じる恐れがあります。
- 消雪後は、ほ場や畦畔の亀裂による漏水がないか点検し、早めに補修作業を行いましょ。
- 干ばつで亀裂が生じたほ場などは、代かきの回数を増やすなど丁寧に行いましょ。
- 春に代かきする場合は、浅水（土が8割見える状況）で作業しましょ。

浅水だと、水の使用量が少なくなる他、田面が確認しやすく、均平が取りやすくなります。

2 地域での取り組み

- 水不足が予想される場合は、地域全体に用水を行き渡らせるため、事前に水不足時の管理体制を話し合いましょ。
- 地域全体で限られた水資源を有効に活用しましょ。

【漏水による栽培への影響】

- ・水をたくさん使うため、用水不足を招く（水不足地域では影響大）
- ・田植え後に水がたまりにくいことで、地温が上がらず、初期生育が遅れる
- ・肥料成分が流出しやすい
- ・除草剤の処理層が保てず、雑草が多発生しやすい



浅水の代かき作業の様子

十日町農業普及指導センター（作物担当）

TEL 025-757-5516・6061

HP http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html



←LINE 水稲情報は
こちらから